

緑化だより

No.116 平成28年5月号



ノダフジ

- 季節の花(コミヤマスマイレ)
- 野鳥の世界(サシバ)
- 昆虫の話(春の鳴く虫)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

5月30日(月)は休園日です



広島県緑化センター

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

季節の花

コミヤマスマレ

楽しさや五月 草木は萌え 小川の岸にスマレ匂う優しき花を 見つつ 行けば心もかろし そぞろ歩き♪～『五月の歌』(オーヴァーベック作詞・モーツアルト作曲)の一節です。

まぶしいほどの緑を背にあびながら、山道をのんびりと歩くと、谷あいの川沿いに、湿り気のある草陰が目にとまり、そこに小さな白い花がひっそりと咲いています。控えめで愛らしいコミヤマスマレ(小深山堇)です。花に出会うと、うれしくて心が和みます。

「山路来て何やらゆかしスマレ草」と思わず松尾芭蕉の句を口ずさみたくなります。

葉は深緑で地味で目立たず卵型をおびた心形です。葉脈は赤斑が入り、葉縁には鋸歯があります。古い布地をまとったような、どこことなく気品があります。

花は白色で小さく、唇弁に紫色の筋が入っています。一番の特徴は、ガク片が反り返り、長く長い毛が見られます。花の時期はスマレ属の中で



コミヤマスマレ

は一番遅く、4月下旬～5月下旬に咲きます。この花を見たことがない、気が付かなかつた、という方が少なくないと思います。県内では、宮島、緑化センターや廿日市市などに自生していますが、まれなスマレです。緑化センターと宮島のコミヤマスマレを比べると、宮島で見られるのは小ぶりですが、葉の斑入りが少し派手で、おしゃれな装いが感じられます。上記の両方の自生地には鹿が出没しますが、不思議なことにどちらも、鹿の食害をまぬがれて、わずかに生育しています。コミヤマスマレは、鹿にとっては不味いのか、または、あまりにも小さすぎて、舌で巻いて食べることが出来ないのか、いずれにしても自生地も量も少ないので、コミヤマスマレを大切に保護したいものです。(上村)

野鳥の世界

サシバ

ツツジやフジの花が終わり、ウツギが咲く頃 中国地方の里山に飛来してきます。

サイズもポーズもトビによく似ていて、棲みつく地域も里山から農耕地が多く、トビと重なっています。梅雨に入り外気温が上がると、小型の生き物が大量に発生します。見通しのきく高い電柱や枯れた高い木の枝にとまり、好物のカエル、バッタ、トカゲ、ヘビなどを狙って、地上で動く小動物や昆虫を見つけ捕食します。



サシバ

トビとは“ピクイー・ピクイー”と明確に繰り返し鳴くことで聞き分けられます。姿が見えなくても、その鳴き声を聞くことで近くに来ていることが分かります。

数年前までは三篠川沿いにトビと同じくらい見られていましたが、近年急速に個体数

が減少してきたようです。今では田園地帯を探して歩いてもその姿に接することが難しくなっています。一定の地域をテリトリーとして、毎年のように子育てをしています。餌になる小動物の発生量が変化したため移動したとも考えられます。早生品種の稲作が増えたため、早期に植えつけて、田んぼの水を早い時期に落とすことで、夏期の水量が減少し、中小生物が満足に繁殖できなくなっているのではないかと思います。必要な餌を確保できるための生物環境を考えると来ているようです。(吉見)

昆虫の話

春の鳴く虫

「鳴く虫」といえばコオロギやスズムシ、マツムシといった虫たちが有名です。秋の夜長に河川敷や草原、藪の中で美しい音色を奏で、童謡にも歌われるほどに親しまれています。

では、皆さんは春の鳴く虫をご存じでしょうか？春にも「クビキリギス」という鳴く虫がいます。細長い体と尖った頭、真っ赤な口が特徴的です。夕方から夜にかけて、草原でジューーと非常に大きく耳障りな音で鳴きます。赤い口が首を切った後の血の様に見えるからこういう名前なのかなと小さいころより思っていました。実は、大きな顎は噛む力が強く、噛まれたまま引っ張ると首がちぎれることからついた名前だということを知りました。力強い大あごを使い、柔らかい葉だけでなく、硬い種子や茎も噛み砕き食べることができます。



クビキリギス(口は赤く頭の先がとがる)

この虫はキリギリスの仲間、その中でもちょっと変わった一生の送りかたをしています。夏に卵がかえり、幼虫は主にススキなどのイネ科の葉や種子を食べて育ち、秋に成虫になります。驚くことに成虫は、枯れた草の間に紛れて寒い冬を越します。春になり暖かくなると成虫は活動を始め、交尾・産卵をします。オスがメスを呼ぶ大きな鳴き声は、もしかしたらやっと来た春を喜ぶ歌でもあるのかもしれない。

クビキリギスにはそっくりさんがいます。見た目はクビキリギスとほとんど変わらないですが顔が黒く、後脚が短いものが「シブイロカヤキリ」、頭の先が丸いのが「クサキリ」、ひとまわりもふたまわりも体の大きなものが「カヤキリ」です。どれも鳴き方までそっくりでとっても紛らわしいですが、尖った頭・真っ赤な口・細い体・春に鳴くこと、これらの特徴がそろっていれば、それは間違いなくクビキリギスでしょう。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)

研修会のご案内

- | | |
|---|--|
| ○ 5月12日(木) 『身近な植物の写し方』
デジタルカメラ講座(光のとらえ方を学ぼう) | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：写真家
大藤 哲己 |
| ○ 5月14日(土) 『春のバードウォッチング』
営巣行動を学ぼう | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：日本鳥類保護連盟 会員
吉見 良一 |
| ○ 5月18日(水) 『コケと草花の観察会』
足元の小さなコケと草花を観察しよう
※ルーペ持参 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：広島大学名誉教授
関 太郎 |
| ○ 5月21日(土) 『春の写真教室』
春を写そう
※ 要予約(先着20名)、無料 | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：二科会会員
宗岡 泰昭 |
| ○ 5月24日(火) 『新緑の三本木山を歩こう』
アラカシからウラジロガシに | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：環境省希少野生動植物種
保存推進員
吉野 由紀夫 |
| ○ 5月26日(木) 『庭木の病虫害教室』
薬剤散布 やって良いこと 悪いこと | 10:00~12:00 学習室 集合
講師：樹木医
菅 信貴 |
| ○ 5月29日(日) 『5月の自然探勝』
新緑の息吹に触れよう | 10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：緑花文化士
横山 直江 |

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・陶芸作品展「陶友会」(福田公民館)

5月2日(月)~6月12日(日)

(ボード展示)

・絵手紙作品展「ろまん会」

5月2日(月)~6月5日(日)



昨年の陶芸作品展より

♪☆お知らせ・ご案内☆♪



~春のおでかけキャンペーン~

~5月15日(日)

広島県緑化センター&広島市森林公園、

両園でスタンプを集めて景品ゲット!



昨年の絵手紙作品展より